

催し物のご案内・利用案内

植物園の最新イベント情報は、公式ホームページやSNSでチェック!



| 観賞温室第2室 企画展示 | | 観賞温室第3室1階 作品展示 | |
|----------------|--|----------------|---|
| 開催中 | 7/12(日) 人と植物のかかわり コーヒー | 開催中 | 7/5(日) 植物色図鑑 色サンプル展 8 ◆出展:植物色図鑑 |
| 7/15(水)9/13(日) | 食虫植物展 [同時開催] ひろがるタネ | 7/7(火)7/26(日) | はなはっぱみ展 ◆出展:はなはっぱみ製作委員会 |
| 8/14(金)15(土) | 夏の夜の温室 見学者希望者募集! 申し込み詳細は県立植物園ホームページをご覧ください。 | 7/28(火)8/16(日) | 花と緑とデザインと ◆出展:新潟デザイン専門学校 |
| | | 8/18(火)9/6(日) | 美華(みか)ーデジタルで醸す花の美ー ◆出展:関根明 |
| | | 9/8(火)9/27(日) | いつでも花と。〜*nori-bou*イラスト展〜 ◆出展:*nori-bou* |

花と緑の教室 *要予約/開催日の1か月前から電話受付 *会場・集合場所/花と緑の情報センター2階(無料入館エリア) *参加費には温室入館料が含まれています

| | | | |
|-------------------------|---|-----------------------------------|--|
| 7/14(土) 13:30-15:00 | 植物と植物文化講座「オリジナルハーブティを作ろう!」 ●講師:難波真寿美(株式会社花穂、花と緑のアドバイザー) ●参加費:1,000円 ●定員:12名 | 9/16(水) 13:30-15:00 | 花散歩⑥「熱帯ドームに咲く花」 ●講師:橋本永(当園職員) ●参加費:500円 ●定員:12名 |
| 7/12(日) 10:30-12:00 | 花と緑の育て方・楽しみ方④「スイレン」 ●講師:丸山真也(当園職員) ●参加費:2,000円(スイレン栽培キット付き) ●定員:12名 | 9/24(木) 10:30-12:00 | 植物の育て方講座「ハーブ編」⑤〜植えて・育てて・楽しんで〜 ●講師:大平美恵子(シーズンノート、花と緑のアドバイザー) ●参加費:1,000円 ●定員:12名 |
| 7/19(日) 13:30-15:00 | 特別講義「能登半島のキシマツツジ」 〜個人の庭が繋いだ奇跡〜 ●講師:倉重祐二(当園園長) ●参加費:500円 ●定員:24名 | 9/27(日) 13:30-15:00 | 特別講義「在来作物のおいしさと面白さ」 ●講師:江頭宏昌(山形大学農学部教授)、小田切文明(にいがた在来作物研究会会長) ●参加費:500円 ●定員:24名 |
| 7/22(水) 13:30-15:00 | 花散歩④「園内雑草探訪」 ●講師:田中良明(当園職員、樹木医) ●参加費:500円 ●定員:12名 | 夏の親子教室 *申し込み詳細は県立植物園ホームページをご覧ください | |
| 7/23(木) 10:30-12:00 | 植物の育て方講座「ハーブ編」④〜植えて・育てて・楽しんで〜 ●講師:大平美恵子(シーズンノート、花と緑のアドバイザー) ●参加費:1,000円 ●定員:12名 | 7/24(金)祝 10:30-12:00 | 親子で楽しむ花クラフト「多肉植物のミニチュアガーデンづくり」 ●講師:ごんだいらあやこ(みどりデザイン研究所、花と緑のアドバイザー) ●参加費:1,000円 ●定員:12組 |
| 7/26(日) 13:30-15:00 | 特別講義「あつまれみずくさの湿地:水草学入門」 ●講師:志賀隆(新潟大学人文社会学部系科教育学系准教授) ●参加費:500円 ●定員:24名 | 7/25(土) 10:30-12:00 | 親子で楽しむ花クラフト「お花あふれるフラワーボックスづくり」 ●講師:石山浩(Musubi屋、花と緑のアドバイザー) ●参加費:1,000円 ●定員:12組 |
| 8/8(土) 13:30-15:00 | 特別講義「にいがたの自然と泳ぐ宝石・錦鯉 〜新潟が作った世界に誇る観賞魚」 ●講師:菅豊(東京大学東洋文化研究所教授)、間野泉一(元全日本錦鯉振興会理事長) ●参加費:500円 ●定員:24名 | 7/26(日) 10:30-12:00 | 親子で楽しむ花クラフト「植物染め手ぬぐいに描こう」 ●講師:星名康弘(植物染め浜五、花と緑のアドバイザー) ●参加費:1,000円 ●定員:12組 |
| 8/10(月)祝 13:30-15:00 | 特別講義「トキと新潟の自然」 ●講師:長岡トキと自然の学習館 ●参加費:500円 ●定員:24名 | 8/8(土) 10:00-11:30 | 夏休み特別教室「植物園職員が教える植物観察のコツと標本づくり」 ●講師:丸山真也(当園職員) ●参加費:900円 ●定員:12組 |
| 9/21(月)祝 | シルバー無料デー 65歳以上の方は温室入館無料 | 8/9(日) 10:30-12:00 | 夏休み特別教室「不思議のかたまり!食虫植物を育てよう」 ●講師:小坂幸生(食虫植物友の会) ●参加費:900円 ●定員:12組 |
| | | 8/10(月)祝 10:30-12:00 | 夏休み特別教室「身近なコケの探し方、見分け方」 ●講師:白崎仁(元新潟薬科大学教授) ●参加費:500円 ●定員:12組 |

施設ご利用にあたって ()

- マスクの着用をお願いします。●体調が悪い場合(熱がある、咳・鼻水の症状がある等)は利用をご遠慮ください。
- できるだけ少人数でご利用ください。●咳エチケット、手洗いをお願いします。●入口の消毒液で手を消毒してからご入館ください。
- お客様同士の距離をあけてご利用ください。●長時間の利用はご遠慮ください。

観賞温室開館日

温室開館時間9:30~16:30(入館締切16:00)

| 7 July | | | | | | | 8 August | | | | | | | 9 September | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|-------------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| ・ | ・ | ・ | 1 | 2 | 3 | 4 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 1 | ・ | ・ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | ・ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 | 30 | ・ | ・ | ・ |

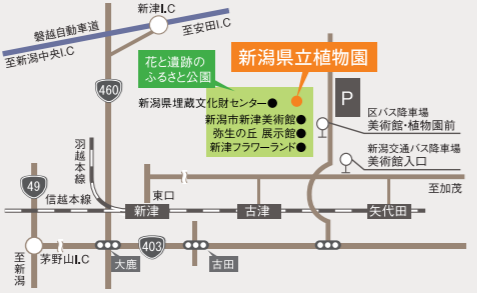
休館日 シルバー無料デー

新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
HP http://botanical.greenery-niigata.or.jp/
指定管理者 国際総合学園・都市緑化センターグループ

情報発信しています

新潟県立植物園 検索



屋外園地無料/無料駐車場300台収容

観賞温室利用案内

| | 個人 | 団体(20名以上) | 回数券(5回分) | 定期券(6ヶ月) |
|-------------|------|-----------|----------|----------|
| 大人 | 600円 | 480円 | 2,500円 | 1,200円 |
| シルバー(65歳以上) | 500円 | | | |
| 高校生・学生 | 300円 | 300円 | | |
| 小・中学生 | 100円 | 100円 | | |

●シルバー料金での入館は生年月日を証明できる物の提示が必要です。
●高校生・学生料金での入館は学生証の提示が必要です。
●身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者は無料となります(等級により介助者無料)。

JR 信越本線古津駅下車徒歩約25分

バス 区バス:新津駅東口から「新津駅西口」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通バス:新津駅東口から「矢代田經由白根・潟東営業所」行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分
※日・祝運休

高速道路 磐越自動車道新津ICから国道403号で三条/加茂方面へ約15分

一般道路 (新潟方面から)国道49号から茅野山ICを国道403号加茂/新津方面へ20分

NIIGATA Prefectural Botanical Garden NEWSLETTER

新潟県立植物園 植物園だより

2020 summer Vol.78



オモダカ <オモダカ科>

Sagittaria trifolia

オモダカは、北海道から沖縄まで日本全土に自生している。水田や湿地に普通に見られる。長く伸びた葉柄の先に人の面高な顔のような矢じり形で下側が左右に広く裂けた葉身をつけることから、オモダカ(面高)という和名が付けられた。葉はすべて根茎から出る。初めの2~3枚は線形だが、その後は長い葉柄に矢じり形の葉となる。7~10月に開花する。高さ20~80cm位の花茎に3枚の白い花弁をもつ1日花である。雌雄異花で花序の上部に雄花、下部に雌花が咲く。秋に株元から地中にほふく茎が伸び、その先に塊茎を形成し越冬する。この塊茎から新しい株をつくる。

解説:富樫信平(要約)

もっと知りたい タネのこと

植物が子孫を残すために重要な種子。植物は移動する能力はありませんが、子孫のためにはなるべく生育に適した場所に種子を移動させるため、風や水などの自然現象や動物などの生きものを巧みに利用するように色々な形に進化しました。

例えば、カエデの仲間には果実の一部が平らなうすい羽根のように発達した翼果で、風に運ばれて遠くに散布されます。南アフリカ原産のゴマ科の多年草、ディセロカリウム・エリオカルプムや、南アメリカ原産のツノゴマ科の一年草、キバナツノゴマなどは発達したとげで動物の足やひづめに付着して運ばれます。また、象牙の代用品になるほど硬い種子や楽器に加工される果実など、中には思いがけない性質をもつものもあります。

そんな知れば知るほど面白いタネの世界をご紹介します。是非、お楽しみください。

展示協力：(一財)沖縄美ら島財団 総合研究センター



企画展示

ひろがるタネ

令和2年 7/15(水) 9/13(日)



サラセニア



ハエトリソウ



ウツボカズラ



モウセンゴケ

ふしぎな色と形「食虫植物」

名前の通り虫などを捕まえるため、独特の形やしぐみを持つ食虫植物。虫などを消化・分解し、光合成だけでは足りない栄養分を補います。世界には約600種の食虫植物が存在し、オーストラリア、東南アジア、北米、南米、アフリカなどの世界各地の森林や湿地帯などに生息しています。日本には、モウセンゴケやムシトリスミレ、タヌキモなどが分布しています。

葉がツボのような袋状に変化したウツボカズラ、筒状の葉をもつサラセニアは虫を落とし込んで捕獲します。これらのほか、葉の中の感覚毛に虫が2回触れると瞬間的に左右の葉が虫を挟んで閉じこめて捕らえるハエトリソウ、葉に生える腺毛の先の粘液で虫をからめ捕るモウセンゴケ、ムシトリスミレなど、どれも興味深い植物です。

今回の食虫植物展では、それぞれの食虫植物独特の色や形やしぐみを比べて観察することができます。この機会をお見逃しなく。

企画展示

食虫植物展

令和2年 7/15(水) 9/13(日)

植物園NEWS 1

護摩堂山あじさい園



地元の方へ管理作業の説明

今年の補植作業の様子

あじさいで有名な護摩堂山ですが、一昨年の秋にあじさい園で枯れた株が目立ち、株も弱っているようだと田上町の担当の方から相談を受けました。そして、昨年の5月よりアジサイ園を復活させるための指導の依頼を受け、技術面のサポートをさせていただいています。

これまでも害虫の駆除や除草などの管理作業は地元の方でされていたのですが、病害によって早い時期に落葉していたことから、効果の高い時期に殺虫剤と殺菌剤の散布をお願いしました。

防除の効果もあり、昨年11月下旬まで多くの葉を付けていたため、株が充実し、本年の花は大きく鮮やかに咲いています。2年目の今年は、管理作業の他にアジサイ園の復活に向けた株の増殖や、補植などにも力を注いでいく計画です。(田中良明)

植物園NEWS 2

芝のリサイクル

デンカビッグスワンスタジアムなどのスポーツ施設の芝生の管理は、芝刈り、施肥、散水のほかに、固くなった土をほぐすため、芝生面の土をくり抜いて穴を空けるエアレーションや、新しい根や芽を増やすため、芝生面に刃を入れて根を切るパーチカルなどの作業が必要です。エアレーション、パーチカル作業を行うと芝の芽が混ざった土や切れカスが発生します。普段これは廃棄されてしまいますが、今回は、ビッグスワンのサブグラウンド(スワンフィールド)の管理のパーチカル作業で発生した芝の切れカスを、当園で整備中のこども植物園の裸地に撒いて新しく芝生を作る方法にチャレンジしています。この方法がうまくいけば、比較的安価に新しく芝生を作ることができ、芝生の普及にもつながるのではと考えています。(橋本永)



スワンフィールドのパーチカル作業の様子



パーチカル作業で出た芝の切れカス。芝の種類は、バミューダグラスの改良品種ティフトン419。ノシバなどの日本芝と比較し、生長が早くスポーツ施設に使われる。



撒き芝を行ったこども植物園

植物園NEWS 3

県外の植物園との連携



左:沖縄から贈られた種子
右:Instagram(インスタグラム)上で各地の園が参加した「植物しりとり」



日本には100を超える植物園があり、各地の植物園はお互いに連携して事業を進めるとともに、植物園への理解を深めていただくような活動を行っています。

各地の植物園や、各園の名物植物を広く知っていただく取り組みとして、離れていてもタイムリーにやり取りができるツール、SNSを活用しています。共通のタグ(「植物園の〇〇」シリーズなど)をつけて投稿したり、「植物しりとり」を回したり、特に、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの園が休園となった期間に

は、開花した植物や休園中のようすを見ていただくための「#エア植物園」、「#マスクをつけて仕事中」などに、多数の植物園が参加しました。

離れているからこそその連携もあります。南北に長い日本では、北と南で植生も異なります。他園から、新潟では自生していない植物や、栽培できない植物を分譲、貸与してもらい、展示などに使うことができます。開催中の「ひろがるタネ」展では、沖縄美ら島財団から送っていただいたゴバンノアシヤサキシマスオウなどの種を展示しています。(林寛子)

園内
ウォッチング

夏の空に映える大輪！タイタンビカス ◆ 開花期：7～8月



タイタンビカスは、株式会社赤塚植物園(三重県)がつくり出した新しい植物です。ハイビスカスなどと同じアオイ科フヨウ属で、ともに北米原産のアメリカフヨウとモミジアオイの交配により生まれたとのこと。これまでに、赤、白、桃など10数品種が発表されています。見どころはなんと花の大きさ！夏の暑さに負けず、直径

20cm超の大輪の花を次々と咲かせます。また、秋には地上部がなくなりますが、寒さにも強く新潟でも外で冬越しOK。春に根元から新しい芽を出すと、開花時には草丈2mに達し、迫力ある姿を見せてくれます。植物園では、4種類を栽培中。温室入り口付近でご覧いただけます。(林寛子)



タイタンビカス「イリス」の花

鉢栽培のタイタンビカス